



L A P R A S

# 時間と場所に縛られない 働き方を求めて

2022年11月30日（水）

LAPRAS株式会社

竹内 巖

# LAPRAS株式会社について

---

社名	LAPRAS株式会社 (旧 株式会社scouty)
英文社名	LAPRAS Inc.
設立年月日	2016年5月11日
所在地	141-0031 東京都品川区西五反田1丁目26番2号五反田サンハイツビル ディング2階
資本金	389,138,200円 (資本準備金も含む)
役員	代表取締役 染谷健太郎
事業許可番号	13 - ユ - 308293 (有料職業紹介事業)

- 2016年5月 前代表の島田が株式会社scouty(現LAPRAS株式会社)を設立  
第三者割当増資にて1250万円を調達
- 2017年2月 第三者割当増資にてInfinity Ventures Partners  
(現) Headline) 等を引受先として約1億円を調達
- 2018年12月 第三者割当増資にて株式会社ウィルグループ等を  
引受先として約3億円を調達
- 2019年4月 LAPRAS株式会社に社名変更  
事業をピボットし、個人向けサービス  
「LAPRAS」をリリース
- 2020年9月 第三者割当増資にて株式会社ウィルグループを引  
受先として約3.5億円を調達
- 2022年2月 代表取締役に現代表の染谷が就任

エンジニア向けキャリア  
マッチングプラットフォーム



LAPRAS



LAPRAS

企業向け  
エンジニア採用サービス



LAPRAS  
SCOUT

企業向け  
副業エンジニア採用サービス



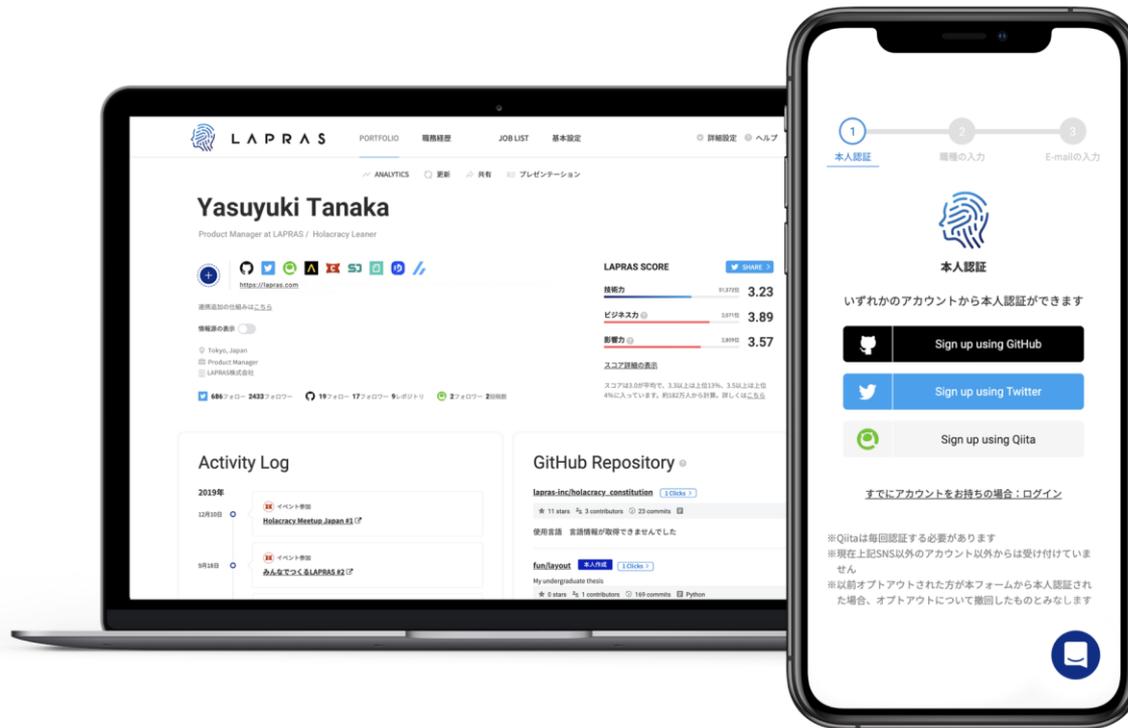
LAPRAS  
Freelance

プロフェッショナル  
による職業紹介サービス



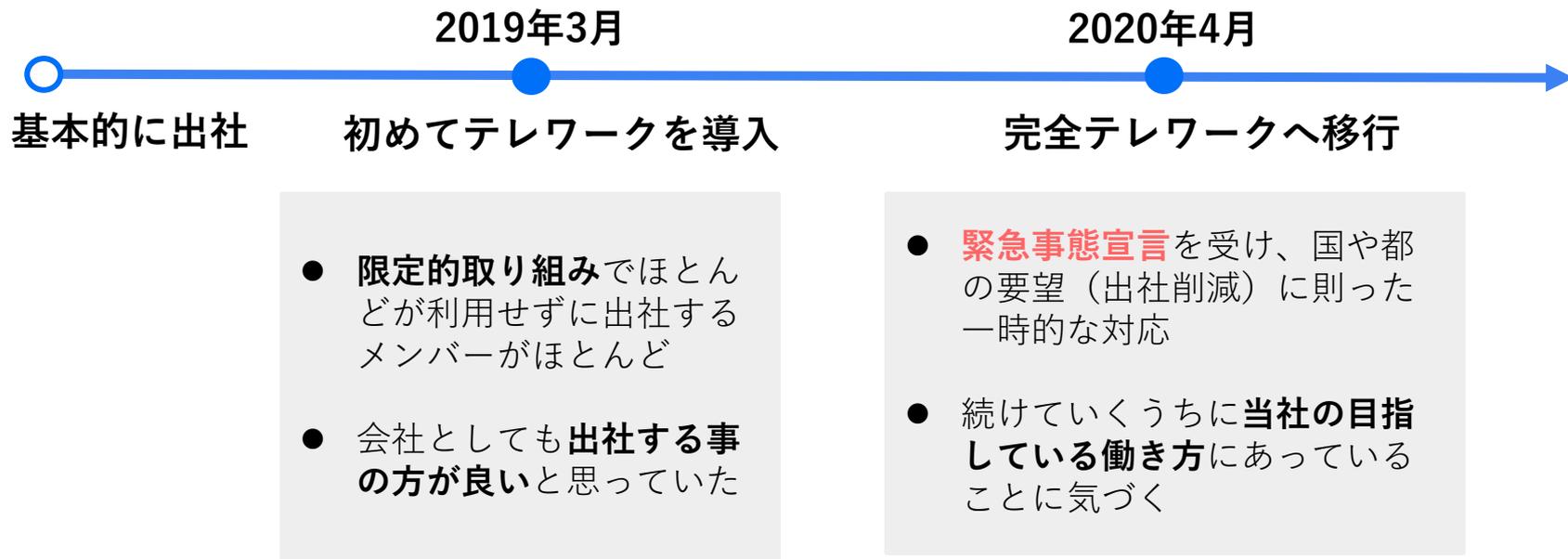
LAPRAS CAREER

LAPRASは、クローリング技術と機械学習による解析を行い、ユーザーのプロフィールを自動生成するサービスです。一人ひとりの実績や得意なことを可視化し、ポートフォリオとして提供します。



## テレワークの取り組みと課題

---



出社を基本とする会社から完全テレワークへ

## 完全テレワーク移行後、1年続けて歪みが発生

仕事中に家庭の仕事頼まれて  
家事と仕事の両立が…

運動不足になった

なんか元気や  
やる気が出ない

歪みを分析すると大きく分けて2つの課題が見えて来た

時間的課題

場所的課題

## ① 長時間の連続した時間拘束が難しい

連続して8時間といった時間の確保が難しい

## ② 十人十色の仕事スタイル

生活スタイルによって様々な働き方が生まれる

## ③ 運動時間の確保

通勤がなくなり意識的に運動時間を作らないと運動しない

いつもの場所で  
いつもの風景

オフィスから家に働く場所が  
変わっただけじゃない？

働く場所の選択肢は複数あった方が良いのではないか

大切なことは決まった場所にいることではなく、  
その人が「**最も活躍できる場**」で  
働けるようにすること

テレワークの課題を解決する  
時間と場所に縛られない働き方

---

# LAPRAS Sustainable Working Style



最低労働時間を撤廃  
好きな時間に  
働くことができる



フルリモート・オフィスワーク  
ワーケーションなど  
好きな場所で  
働くことができる

働く時間も場所も自由に決めて、幸せが持続する働き方

## 働く場所の選択肢を増やす

### 全国利用可能な シェアオフィスと法人契約

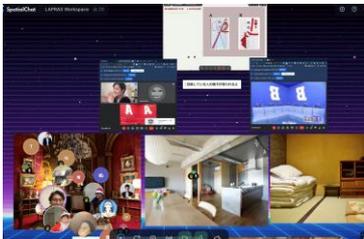
### ワーケーション推奨



完全テレワークだからこそ集まりを大切に

## オンラインイベント

### オンライン忘年会



### バーチャルカフェ



### 瞑想会



naga3 / Osamu Nagayama 13:39

お知らせ：

本日15:00～15:30までGather屋上の瞑想ルームにて瞑想タイムを行います 🧘

今日は天気が良いので自分は歩く瞑想をしようと思います。一緒にお散歩しましょう！



## リアルイベント

### 部門ごとのオフサイトミーティング



### Qに1回の全社オフサイトミーティング



## 時間に縛られずに心身を健康に

### コアタイムなしフレックス

最低労働時間を撤廃し、労働時間の不足に伴う給与の減額を行わないように。

パフォーマンスを出していれば、所定労働時間に足りなくても給与の減額をしない

#### < 基本的な考え方 >

「長時間働くことにより脳が疲れ、パフォーマンスが低下していくと言われており、その場合は、早く切り上げてリフレッシュしたほうが、結果的にその後の生産性向上につながると考えられる」

### Raw (Rest as a Work)

就業時間中の休憩とは別に**1日1時間運動**に充てることが可能な制度（就労時間として取り扱われる）

現在では運動だけでなく、心身のリフレッシュに使われる。雇用区分を問わず派遣や業務委託を含めた、1日8時間以上就労する従業員（派遣・業務委託含む）全員が取得可能

#### < Rawの利用用途 >

- 昼寝
- 犬の散歩
- 子供のお迎え
- 運動がてらの夕食の買い物
- 子供とのコミュニケーションの時間

### ワーケーション

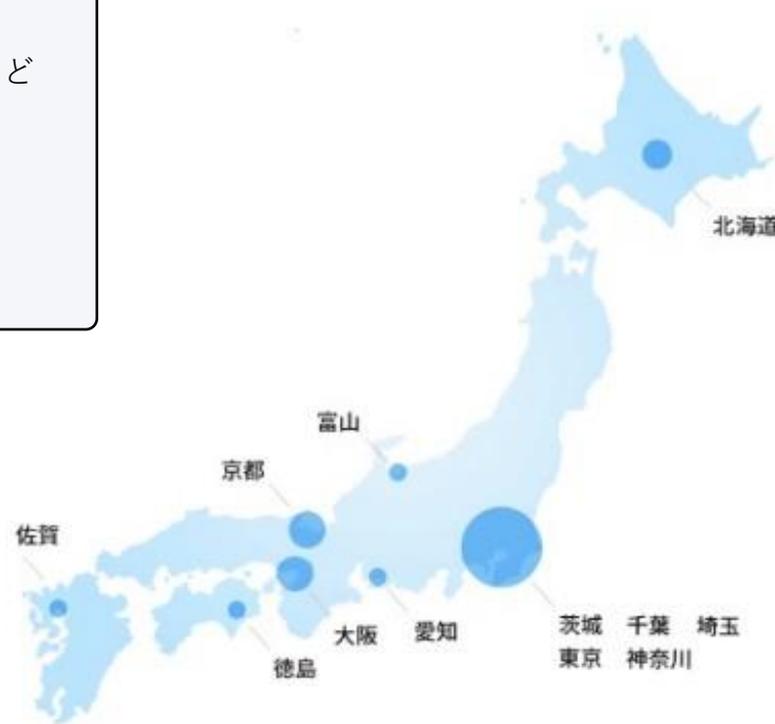
2021年11月からの**1年間で15名**が活用（**全社員の約3割**）  
場所は沖縄、伊豆、鎌倉、軽井沢、オーストラリア、ハワイなど

### シェアオフィス

部署ごとのオフサイトミーティングで活用  
個人でも全国のシェアオフィスを利用

## 関東近郊以外から社員の増加

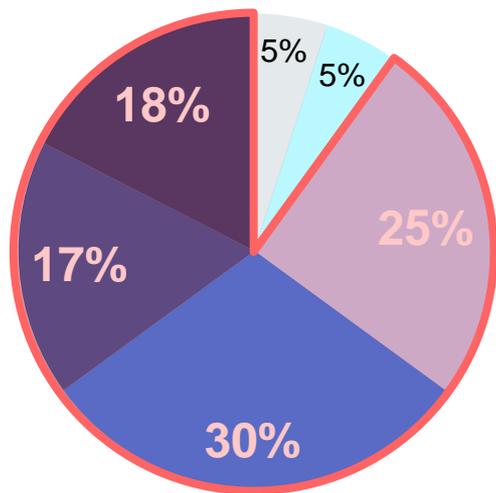
完全テレワーク移行後の  
関東近郊以外からの入社人数 **11名**



LAPRASの社員の居住地（2022年9月末時点）

LAPRAS 社員へのアンケート結果（2022年7月実施）

Q 豊かな生活を送れていますか？

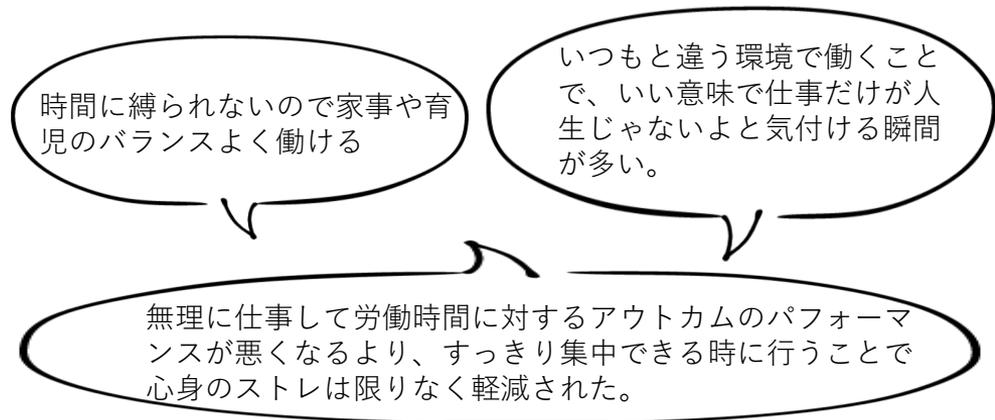


■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7

豊かな生活が送れている社員 **90%**

Q 1年前と比べて、テレワークの活用にあたって、社員の事情に合わせた労働時間の柔軟な取扱いを行っていると思いますか？

「行っている」と回答した社員 **100%**



時間に縛られないので家事や育児のバランスよく働ける

いつもと違う環境で働くことで、いい意味で仕事だけが人生じゃないよと気付ける瞬間が多い。

無理に仕事して労働時間に対するアウトカムのパフォーマンスが悪くなるより、すっきり集中できる時に行うことで心身のストレは限りなく軽減された。

## 今後の課題と取り組み

---

## ① テレワークに合わせた福利厚生

完全テレワークの会社だが、福利厚生の利用にあたっての地域差が出ている

## ② リアルに集まる場

部門単位でのオフサイトも活発になるように制度を考案中



世界最大のフルリモートワーク企業GitLabの「Remote Playbook」を参考に

# 世界基準のテレワーク環境を